

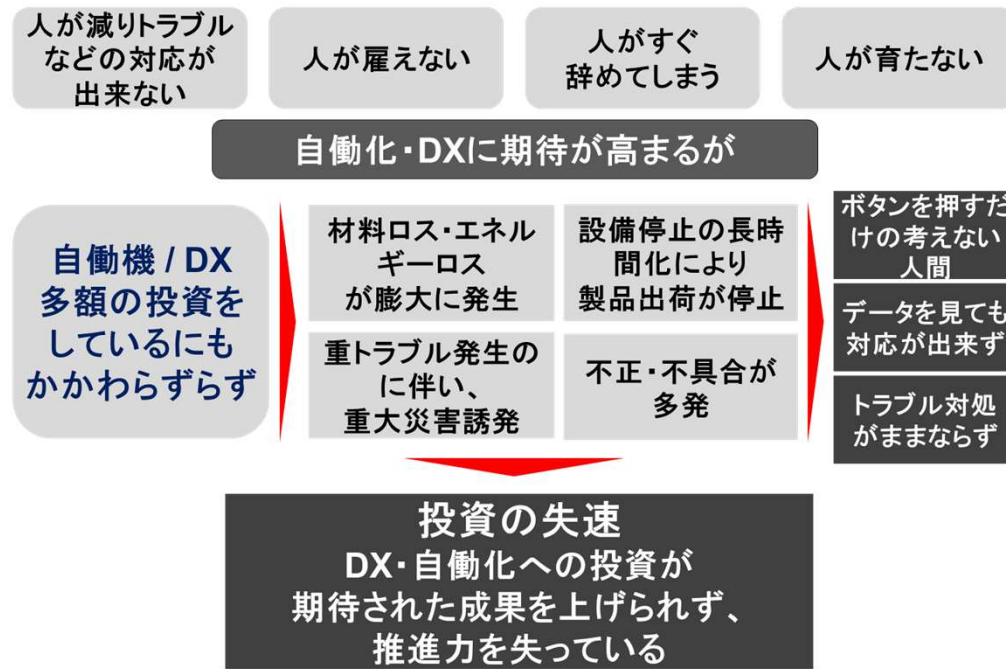
「Gemba創生」プロジェクト

製造の未来を支える

社会価値醸成・社会貢献プロジェクトを始動させました

形骸化した改革の影が、現場に潜む“闇”を呼び覚まします

人手不足が生産を阻んでいる

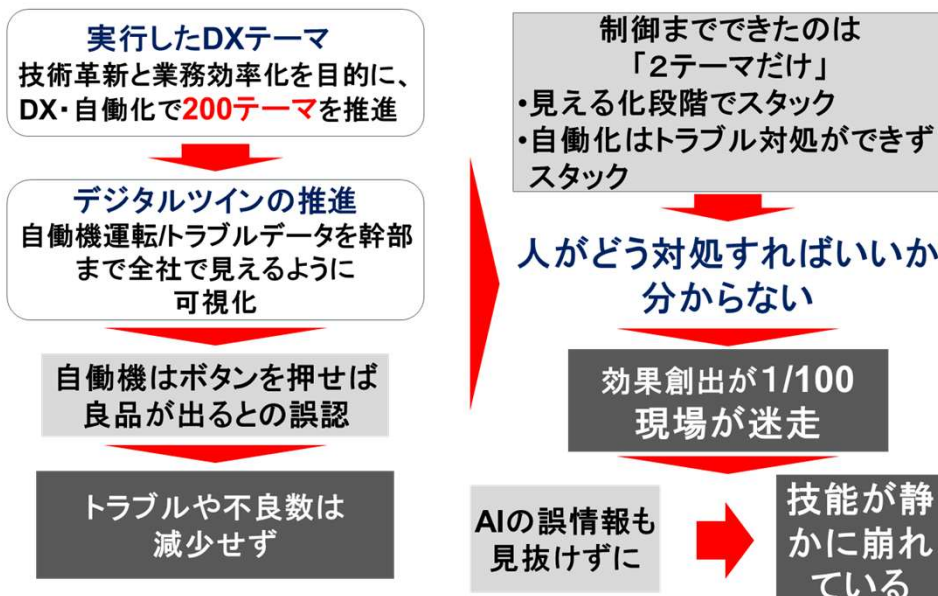


現在、製造業の現場では「人材の確保・育成の困化」や「早期離職の増加」といった課題が顕在化しており、DXや自動化への期待が高まっています。

しかし、現場に必要な知識・経験・技能が蓄積されていなければ、変革は定着せず、成果には結びつきません。

人手不足の切り札 DX・自動化のはずが

誰もが知る先端大手メーカー事例・・・



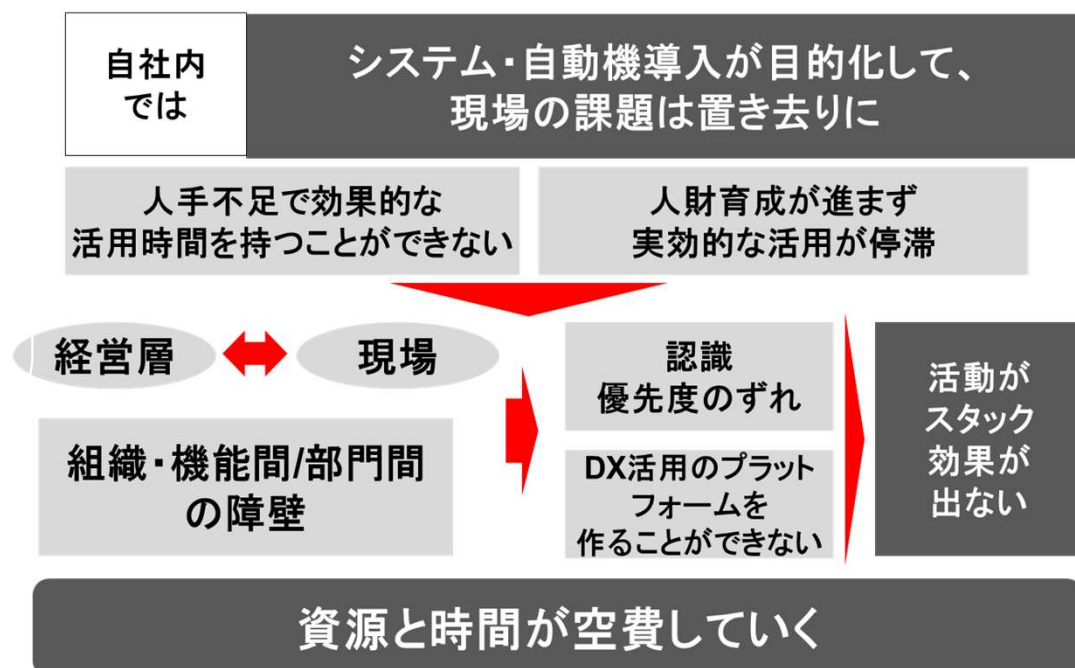
著名な先進企業でも200件以上のDXテーマが検討されたものの、成果として定着したのはわずか2件。

「ボタン一つで良品が出る」といった誤認が広がり、作業はマニュアル化、現場の思考力は低下し、迷走が続いています。

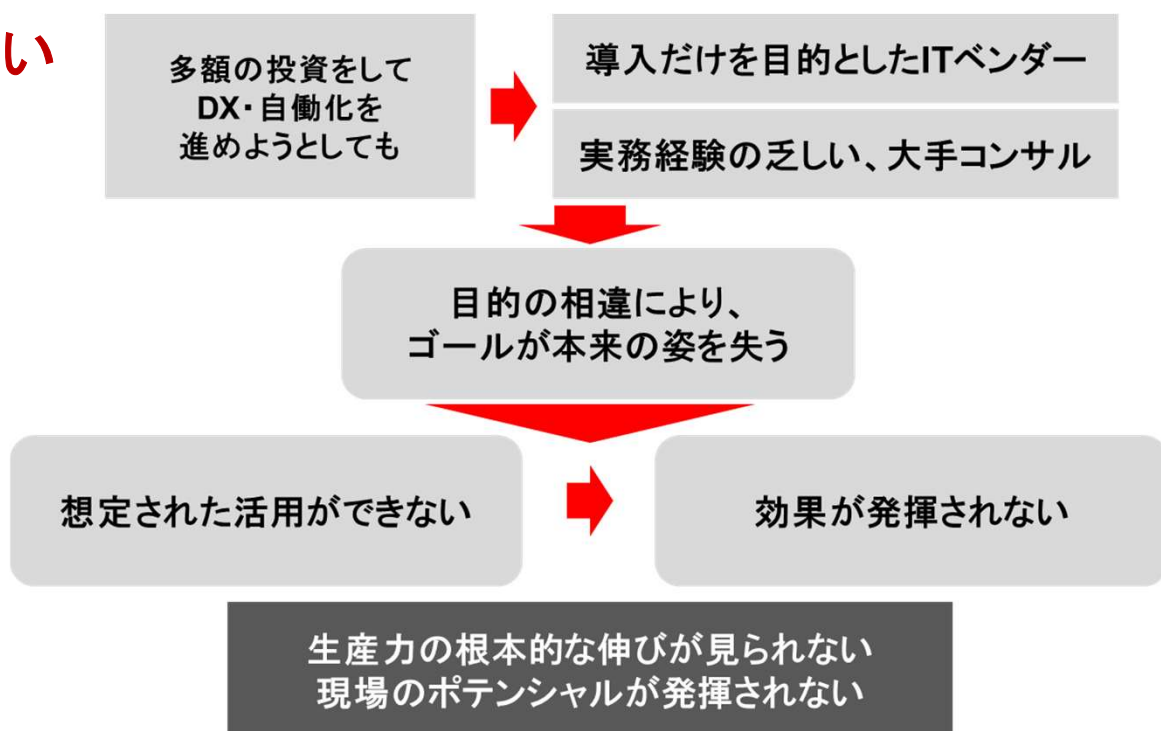
AIの誤情報を見抜く力も育たず、技能の土台は静かに、確実に崩れつつあります。

結果として、自動化やDXへの投資は成果に結びつかず、時間と資源が空費されているのが現状です。

内部だけで
動いても、
変化は
点に留まり、
面にならない



実務経験がない
ものには
無理が伴う



DXや自動化を進める中で、内部改革だけでは行き詰まりが見えてきます。
また、DXツール導入だけを目的としたITベンダーや現場経験を持たない陣容で推進される大手コンサルファームでは、能力の限界により核心への到達が困難です。

実務に根ざした専門家の伴走こそが、現場に機能する仕組みと人財育成を可能にします。現場の優れた知見が伝承され、自らがわくわくして動きたくなる、創造性に充ちた現場づくりを支援します。

改革を動かすのは、机上の理論ではなく、現場で培われた
“実践の智”

形式ではなく実践。
現場が求めているのは“実践者”

現場に根ざした課題解決と、持続
可能な価値創出を実現するための伴走

伴走者が我々Gemba創生
プロジェクトのエキスパートです

考えることの原点は、ものづくりの面白さ、楽しさ

ものづくりには、必ずやりがい
と面白さが潜んでいる

難しさの中に、
創造の悦びが息づいている

達人に聞いてみる

経験の地層に、
痕跡が刻まれている

その価値は、今も静かに眠っている。

・その価値にまだ気づいていない
・その価値を忘れている

価値を呼び戻す

私たちは従来の枠にとらわれ
ず、少数精鋭の技能・技術集
団として、御社のモノづくり
を本質から支援することが重
要だと考えます。

ツール導入に留まらず、現
場に根ざした課題解決と持続
可能な価値創出を実現する伴
走型支援こそが、今求められ
ているのです。ツールや設備
に頼るだけではない実践。

現場が真に必要なとしている
のは、私たちのような“実践
者”です。

深刻な「現状」

「待ったなし」の
自動化・DX技術革新

「将来」の成長確保

不正
重大事故

自動化を進めて
いるのだが

競争力劣化

正確性とスピード
が必要だが

上市能力
不足

1. 深刻な人手不足と能力低下

- ・ものが作れない
- ・良い品質が出来上がらない
- ・常に現場は手一杯
- ・不正やごまかしの発生

2. 自動化とDX技術革新対応

- ・AI、IoT含めた技術能力不足
- ・トラブル対応力の低下
- ・品質保持判断力の低下

3. 次世代製品供給

- ・生産試作・量産試作対応力低下
- ・長時間化
- ・解析技術力の低下
- ・先端技術対応力不足

今をどうするか

今後どうするか

将来をどうするのか

技能づくり・人づくり ⇒ 風土づくり

基礎力強化
少数精鋭化

トラブル対応能力強化
インシデント判断能力強化

解析能力の強化

レガシーを残す(良質な技術・技能)

- ・ノウハウ等のエンサイクロペディア化
- ・レガシー人材活用等による技能伝承

新技術に適応する「考える力」をつける

- ・人材育成
- ・マイスター人材発掘と活用

創造的風土・ワクワクする職場
を作る

「貴社OB・Gemba創生チーム・現場」の三者協働により、
活動支援の基盤を整備。次世代を担う人財を育て、
貴社の革新性を支えるプラットフォームを構築します

知的投資

貴社が持つ、
知識・経験をフル活用



貴社OB

共同

活動プロセス
考え方や解決に
向かう「プロセス」を
共に討議しながら



次世代育成

現場
製品技術・技能者・生産技術



GSSGの
豊富な経験

Gemba創生
チーム



コンサルタントの
先端の実践理論・技術

メソッド（実践的方法論）を提供
プラットフォーム構築を支援

貴社の持つ
知的資産の徹底活用

5つの推進プログラムで「現場創生」を遂行していきます

1 人財育成・技能強化・伝承強化
「最重要基盤構築プログラム」
技術・技能を駆使する人財発掘

2 トラブル解消力強化
デジタルツイン構築と実効性のある活かし方
技術者・技能者・現場の機能連携、
エキスパート活用対応力強化

3 エンサイクロペディア化
技術的知見、トラブル、手順など
人への知識実装強化のための
AI百科事典、自社内ウィキペディア

4 リモートDX・活用強化
リモート技術支援、
指示の具体化DX (AR/VR)
技術的会話を広げるツール 活用

5 試作力強化
要求機能品質展開・実験計画法 強化
トラブル解消、生産・量産試作の
超高速化を可能とする技術的基盤構築

基盤構築

技術的会話の促進基盤

技術者・技能者等、現場の各機能の
連携。コミュニケーションや情報交換を
を行う基盤の構築。

プラットフォーム（運用継続基盤）

生産の安定化や埋没しているコストを極小化
する仕組みを創出し、継続運用する基盤の
構築。

私たちは、生成AIやデジタルツインなどの先端ツールの“使い方”に深く踏み込み、机上に留まらない高度な運用設計で、現場の思考力を引き出します。

技能の「活かし方」まで設計し、試行・検証・改善を通じて実効性ある解決策を構築。

さらに、自動化のプロセスを通じて技能の本質に迫り、“現場智”を体系化することで、智の伝承を支援します。

Gemba創生プロジェクト

一般社団法人 製造業総合支援

GSSG
One
SMALL
株式会社 スモール・ワン

お問い合わせ窓口
gemba_sousei@smallone.co.jp

担当 Executive Producer : 田邊 洋
Executive Director : 藤平 俊彦

エキスパート集団 : GSSG
実効力と専門性を備えたコンサルティングチーム : スモール・ワン
が推進する、製造を通した、人と社会をつなぐ、社会還元プロジェクトです。

事務局：

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-7-5
池袋パークタワー703
Tel:03-5950-2150/ Fax : 03-5950-2151
株式会社スモール・ワン内